

浅川地区の公共施設について考える

第1回 市民ワークショップを行いました

11月11日（土）浅川公民館大会議室で「浅川地区の公共施設について考える」市民ワークショップを開催しました。

はじめに市から、長野市の現状や課題等について説明し、そのあとグループごとに、前半で「浅川の将来、こんな地域を作りたい」、後半で「将来のために公共施設でしたいことを考える」をテーマに意見を出し合い、発表を行いました。ご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。

グループ討議の様子です



熱気あふれる意見交換をいただきました。

◇住民自治協議会のご協力により、区長をはじめ各種団体役員さんなど、約50人に参加いただいて開催しました。アドバイザーの、信州大学工学部寺内美紀子准教授と信大生も加わって6グループに分かれて意見交換を行いました。

◇寺内先生からのアドバイス

『皆さんの意見発表を聞いて、とても本質的な話が出ていたと思う。浅川地区は中山間地と平地を両方持っている地区。浅川地区の将来の在り方は長野市全体のモデルになるのではないかと。浅川地区の成果は、これからの長野市の公共施設を考えるうえでとても意義深い。浅川全体を一体的に考え続けることが、地域の魅力を高め、これからのまちづくりのきっかけとなることを期待しています』



次回の予定

第2回
（最終回）
2月24日（土）
午前9時30分～
12時00分

グループ検討のテーマ

～支所・学校を中心に、浅川地区の公共施設の将来像について考える～
◇検討の後、グループ意見発表、講評・まとめを行います

会場

浅川公民館
大会議室

◇第2回のワークショップも公開です。

◇長野市公式ホームページ
「公共施設マネジメント推進課」に
当日の資料などを
掲載しますので、
ご覧ください。



【お問い合わせ先】

公共施設マネジメント推進課
電話：224-7592
浅川支所 電話：241-3552



各グループのご意見の一部を紹介します



【浅川の将来、こんな地域を作りたい】

- ◇人と人との交流、世代間の交流が充実した地域にしたい
- ◇定年退職者や女性などが地域で活躍できる、地区内で生き生きと暮らせる地域に
- ◇山や川、豊かな自然を活かした取り組みがしたい。浅川名物をつくり癒しの観光地にする
- ◇遊休農地を活用する。地元の野菜、ジビエ料理が食べられる。農産物販売施設を作りたい
- ◇安心・安全な地域づくり。子育てしやすい、子供同士が仲良し。高齢者を孤立させない
- ◇交通事故のない地域。安全な道路整備、公共交通が確保された地域にする

【公共施設でしたいこと】

- ◆小学校：空き教室を利用した世代間交流の場、複合施設化。チャレンジウォーク。フリーマーケット。ホテルの鑑賞会。子ども食堂。コミュニティスクール。高齢者や障がい者との交流会
- ◆公民館：ボランティアの拠点。人材の育成。歴史を学ぶ、音楽会、演奏会、ジビエ料理教室、家具の創作、ガーデニング、きのこ栽培。 ◆マレットゴルフ場：世代間交流、観光
- ◆体育館：飯綱高原での合宿、農産物展示販売。自然体験拠点
- ◆人権同和教育集会所：地域内の交流、地域を知る活動 ◆支所：婚活事業
- ◆スパイラル：森林体験、観光客の利用、里山を守る会の利用、星空観賞、マラソン大会、ウォーキング

【浅川のための提案】

- ◇山間地で豊かな自然等を活用した周遊ルートが考えられる。ゆっくりお茶ができる場所を
- ◇荒廃農地対策が必要。農地の所有者を特定するなど、しっかりと対策して農地を守る
- ◇これからの主役は定年退職者。街場から山間地に人が向かうような仕組みづくりを
- ◇キャンプ、炭焼き、バーベキュー、きのこ採り、川遊びなど、自然を活かした取組ができる
- ◇小中学校は調理室や工作室があり、創作の場にできる。学校をもっとオープンに
- ◇小学校の空き教室を多世代で活用することを想定した場合、バリアフリー化が必要
- ◇「事業」の後継者と「家」の後継者、「家」の後継者がいないと子どもがいなくなってしまう
- ◇ブランド薬師と霊園にケーブルカーを引く。浅川ダムのパブリシティ。
- ◇中山間地から農産物を街場へ運び販売し、街場で買い物をして帰る循環をつくる。高齢者の安否確認もできる ◇公共施設の有料化も考えるべき

参加者アンケートのご意見を紹介します

- 浅川地区の活性化話し合うのは面白かった。みなさん広範囲に考えていて頼もしいと思った
- 浅川には魅力が多いと感じた。少し時間が足りなかったかなと感じた。
- 活発な意見が出された。公共施設の見直しには個別の施設について時間をかけて検討が必要だ
- 若い世代の人を加えるべきだと思う。浅川の平坦部の人の意見がもっと欲しい
- 6グループから沢山の意見が出されたが、どのように意見をまとめていくのか。大変な仕事
- 課題も多いが、ダム、ブランド薬師、ゴマシジミなど、取り組み方によっては希望がある。

◇第1回の結果を、広報ながの12月号にあわせて回覧しています。
第2回の結果は、広報ながの4月号にあわせて回覧します。お楽しみに！

